

# Hanabi

世界初 花酵母を用いた新感覚カクテルブランド

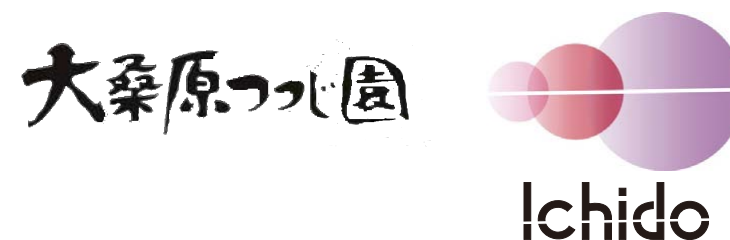


渡邊 優翔 Yuto Watanabe

- 2000年11月11日福島県須賀川市 生
- 東京農業大学 造園科学科 4年
- 大桑原つつじ園 26代目当主
- Ichido株式会社 代表取締役

**-震災復興実績-**

2020-被災地復興事業 “富岡町つつじ再生プロジェクト”  
2022-環境省 「FUKUSHIMA NEXT」 環境大臣賞受賞  
2022-福島12市町村 創業アイデアコンテスト 第1回 最優秀賞  
2022-株式会社朝日新聞社「大学SDGs ACTION! AWARDS」  
2022-JA 学生ビジネスプランコンテスト「JUMP」全農賞・ニチレイ賞  
2022-SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞 農業部門受賞



**-家業実績-**

2019-(有) 大桑原つつじ園『日本一の観光地へ』再興計画を実施  
2020-クラウドファンディング 310万円のファンディングに成功  
2021-グリー株式会社 クラウドファンディング共同プロジェクト

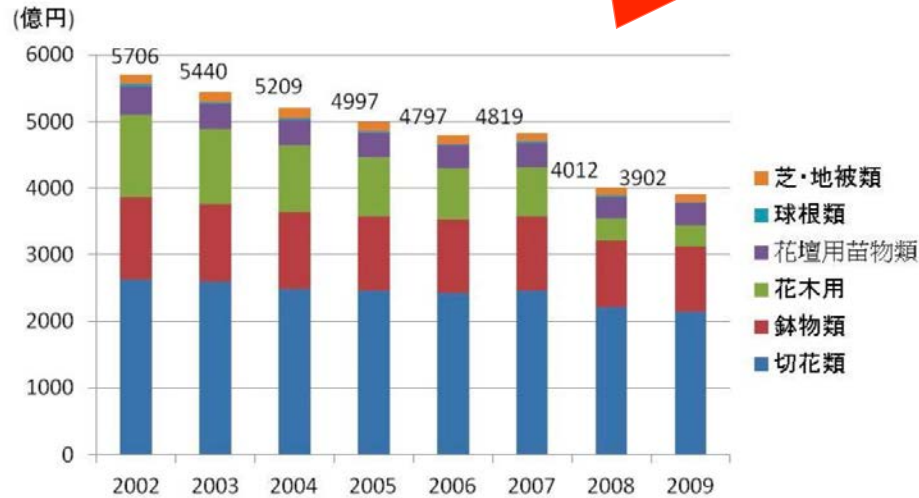
# 事業について/現状・課題 生産者と小売店の悩みと業界

生産者/小売店共に市場の変化による悩みを持っている状況

## 生産者の持つ悩み

- 01 本質の課題：売り先と生産力の低下
- 02 人手不足・後継者不足・単価の低さ・不安定

## 花き類 生産額推移



花き類 生産額推移の年々低下

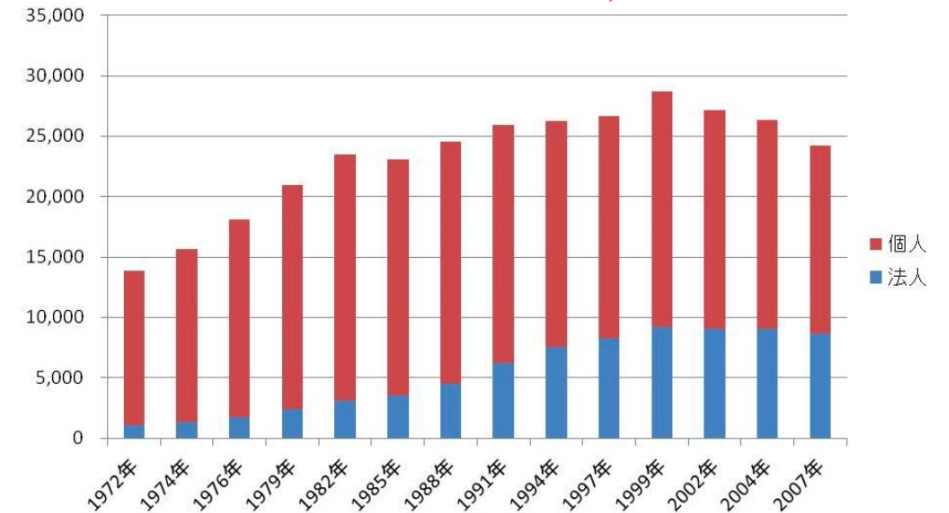
(2007年から2008年にかけての減少の理由は  
農林水産省が花き類の生産額から出荷額に変更したため)

フラワー&グリーンビジネス白書参照

## 花屋の持つ悩み

- 01 本質の課題：花屋増加と売上の低下
- 02 個性化・イベント収入・わからないニーズ

## 花き小売店 店舗数の推移



1999年以降  
花き小売店 店舗数の減少

出典: 経済産業省 商業統計

# Hanabi

## 世界初 花酵母を用いた新感覚カクテルブランド

東京農業大学にて研究されている花酵母技術を活用。

花酵母は花ごとの香りのニュアンスを醸した酒へと纏わせることが可能な次世代酵母。

社会への貢献と経済性のバランスをしっかりと取った新たなサスティナブルブランドとして世界へ。



**Vol.1 AZALEA**  
(ツツジ)

富岡町



**Vol.2 HOPE**  
(トルコキキョウ)

浪江町



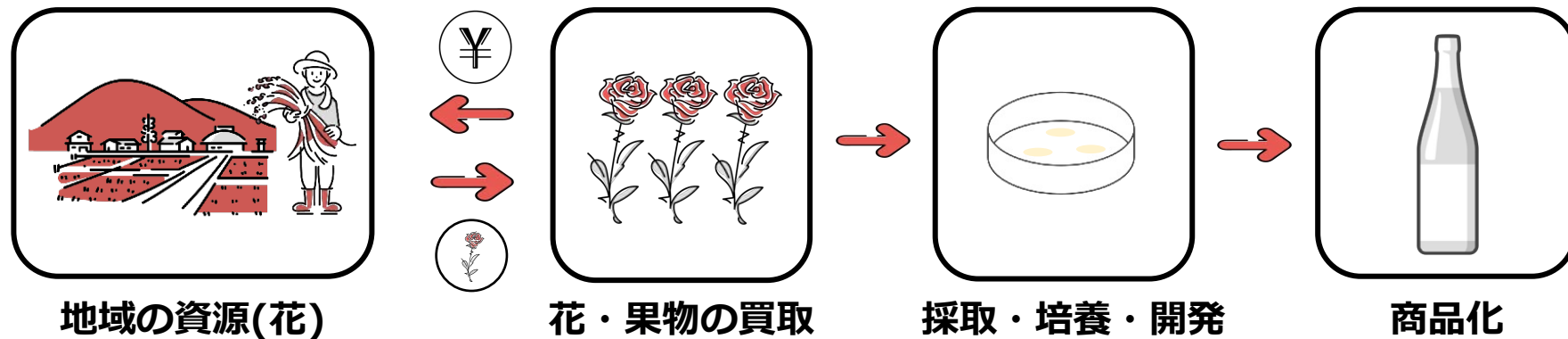
**Vol.3 JUPITER**  
(キンモクセイ)

川俣町

## 花酵母は地域にあるそこでしか採れない花をお酒にすることが可能

⇒ 何十年何百年と地域に根ざして生きてきた花を新たな地域資源として捉え直し、活用する

### Ichidoのお酒事業



⇒ 地域にある様々な資源をふんだんに使用し、そこでしか作れない商品を創る

※花酵母の採取：花の終わりかけの時期に採取するのが成功率高く、シーズン終わりの廃棄花(フラワーロス)の削減へ貢献可能

核となる花酵母（技術）を持ち、地域性を強く再構築させる

▶ ロスフラワーをしっかりと買取。花農家の新たな収益源を生み出し地域産業を活性化させる

花を鑑賞用だけではない新たな花の売り方を、県内外また世界へ発信

## 花酵母とは

### 自然界に咲く花々から様々な香味を醸し出す優良酵母

花酵母とは、自然界に存在する花から分離した天然の清酒酵母です。  
その酵母は東京農業大学醸造学科の中田久保先生によって発見されました。  
最初はナデシコ酵母から始まった花酵母ですが  
今では40種類を超える酵母が農大の研究室で保存され、そのうち16種類が実用化がされています。

花酵母を用いてお酒を作っている蔵元の方々も

- ・ 季節感を演出できるのも、花酵母の大きな魅力
  - ・ 香りよりもむしろその味わいの幅広さに大きな可能性を感じている
- と言ったように花酵母は魅力に溢れています。

花酵母には多くの可能性を秘めていると考えています。



「Hanabi」の売上1%を花業界のために寄付し、新たな流れを

## 百花繚乱プロジェクト



「Hanabi」の売上1%を支援



地域・花農家へのプロジェクトを立ち上げ



地域・花農家への支援と地域住民との連携



花の溢れる町  
挑戦する花農家を増やす

百花繚乱プロジェクトにより

地域資源への再注目と地域の魅力の向上を促進させる

花農生産者や地域が挑戦できる機会を創出し支援を行う取組を図る

被災地を始めとし全国へのプロジェクトの展開を行い花溢れる花業界の活性化を目指す

# Raisama Sake Brewery In Tomioka

7

## 酒蔵が地域の新たなコミュニティを創出し地域資源循環を目指す 酒蔵&コワーキングスペース&BAR

完成予定：2027 年 富岡町 オープン

### 【らいさま】とは

福島の方言でカミナリという意味  
この場所が多くの人々に良い影響(刺激)を与えられる意味を込めている

### 【コンセプト】

富岡(福島被災地)で1番うっちゃんしい場所を創る ※うっちゃんしい=うるさい

### 【生み出すもの】

酒蔵=地域交流・チャレンジ・地域の魅力向上・観光  
自社=地域雇用・自然保護・地域循環



### 【建物のイメージ】

仮設住宅や被災地域の端材を使用し地域循環を図る  
地域の一つの交流の場を創出しご近所付き合いの創出  
・コワーキングスペース  
・イベントスペース (おしゃれな公民館)  
・酒蔵&BAR (お酒が飲めるスペース)

### 【庭のイメージ(癒し・花)】

富岡町のように花と緑あふれる場所を作り多くの人が  
自然に引き込まれやがて人が花となる場所をイメージ  
・元住宅地から植物を受け取り移植と再生を行う  
・住民がふらっと立ち寄れるアットホーム感  
・緑やお酒で交流が生まれる場所  
・子どもや大人の皆が楽しめる場所

うっちゃんしい場所を創る

“一本の木で世界は変えられる”

地域にある何気ない木や花はあまり注目されてこなかった  
そこに何十年、何百年と根付いてきた樹木・花々がある



樹木や花々は立派な地域の固有資源だ